



参考資料

iOS9.1へアップデートされた端末の
プロファイル上書き手順

1.はじめに	3
1.1. 発生している事象について	4
1.2. インストールされているプロファイルについて	5
1.3. 事象が発生した端末への対応手順について	6
1.4. 注意事項	7
2.管理画面での操作	8
2.1. 管理画面にプロファイルを登録する	9
2.2. 上書き可能とするプロファイルを配信する	10
2.3. 遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式で適用する	12
2.4. フィーチャーセットの上書き状況を確認する	15
3.端末側での操作	16
3.1. 遠隔設定の端末側でのインストール（タップ方式）	17
4.FAQ	19

1. はじめに

1.1. 発生している事象について

本参考資料は、iOS8.2以下でMobiConnectに登録された端末を、iOS8.3以降(iOS9以降を含む)へアップデートされた端末にて発生する、下記事象についての対応手順となります。

【発生する事象の詳細】

該当する要求を実行した場合、端末側でプロファイルをインストールする際に下記メッセージが表示され、プロファイルをインストールすることができない



【事象が発生する該当端末】

すでにMobiConnectに登録済みのiOS7.x~iOS8.2以下の端末を、iOS8.3以降へアップデートした端末

- ※ iOS8.3以降に新規登録された端末では、本事象は発生しません。
- ※ iOS8.3以降に新規登録された端末から、iOS8.4以降(iOS9以降を含む)へアップデートした場合、本事象は発生しません。

【事象が発生する要求】

- インアクティベーション
- 遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式を選択して適用
- IVI MDMプロファイルがインストールされている端末を再登録する

管理画面では、上記要求を実行後、クライアントアプリをタップした時点で要求のステータスが成功となります。

そのため、インアクティベーション要求を実行すると、端末が"無効状態"になります。

ただし、本事象が発生している端末の再登録を実施すると、登録時のプロファイルも上書きインストールすることができないため、端末を登録することができません。

1.2. インストールされているプロファイルについて

Hybrid MDM登録された端末には、下記の通り2つのプロファイルがインストールされます。設定メニューより「一般」>「プロファイルとモバイルデバイス管理」にて確認可能です。



Apple MDMプロファイルは、削除ボタンがついており、端末側で削除可能なプロファイルとなります。プロファイルを削除することで、Apple MDM方式(サイレント方式)にて適用した制限は、全て解除されます。

IVI MDMプロファイルは、端末側では削除することができないプロファイルとなります。これにより、IVI MDM方式(タップ方式)にて適用された制限は、端末側では解除することができません。

今回、プロファイルを上書きすることができない事象は、削除することができない**IVI MDMプロファイル**にて発生する事象となります。

1.3. 事象が発生した端末への対応手順について

事象が発生している端末、およびこれからアップデートする端末に、下記手順を実施していただくことで、事象の発生を防止し、引き続きMobiConnectをご利用いただくことが可能です。

また、一度でも下記手順を実施された端末につきましては、以降もプロファイルの上書きが可能となります。

なお、本手順の実行するにあたり、iOS9.1へとアップデートされていることが条件となります。

iOS9.1にアップデートされていない端末では、IVI MDMのプロファイルを上書きすることができません。

【手順】

1. IVI MDMプロファイルを“上書き可能とするプロファイル”を、ファイルダウンロード要求よりサイレント方式で端末に配信する。
2. 遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式で適用し、端末側でプロファイルを上書きインストールする

プロファイルの上書きが完了し、対応が完了していることは、[フィーチャーセットの上書き状況をCSVファイルにて確認](#)することができます。

ただし、上記手順のうち、2を実行する前と後に、端末基本情報取得を実行していただく必要があります。

2を実行する前に端末基本情報取得を実行しなかった場合、正しい情報を取得することができず、プロファイルの上書きが完了しているにもかかわらず、完了していないと表示されることがありますので、ご注意ください。

1.4. 注意事項

【注意事項】 コンテンツフィルタが適用されている端末について

遠隔設定フィーチャーセット、構成プロファイル、端末側設定メニューの機能制限にて、コンテンツフィルタ(Webコンテンツフィルタ)が適用されている端末では、遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式で実行すると、インストールすることができない事象が発生いたします。

そのため、iOS9.1へアップデートする前に、コンテンツフィルタの制限を解除してください。

参照アナウンス : <https://inventit.zendesk.com/entries/96917557>

【補足事項】 MobiConnectを使用しないため、状態を無効にしたい端末について

端末を使用しないため、プロファイルを削除したい場合は、IVI MDMプロファイルを”上書き可能とするプロファイル”をインストールした後で、遠隔設定フィーチャーセットの適用ではなく、インアクティベーションを実行してください。

その際に「端末制限を解除する」のチェックを入れて実行し、端末側でプロファイルをインストールしてください。

手順参照箇所 : <https://inventit.zendesk.com/entries/92729256>

【補足事項】 上書き可能とするプロファイルについて

“上書き可能とするプロファイル”は、Apple社より提供されたファイルです。

有効期限は2015年12月31日、端末にインストール後、3日経過後に自動で削除されます。プロファイルが自動削除される前に、タップ方式で遠隔設定フィーチャーセットを適用し、プロファイルを上書きしてください。

【補足事項】 サイレント方式が使用できない場合

Apple MDMが利用できない場合は、“上書き可能とするプロファイル”をメールに添付して送信し、端末側でメールに添付されているプロファイルをタップしてダウンロード、インストールしてください。

※iOSにプリインストールされているメールアプリを使用してください。

または、ファイルサーバー上に”上書き可能とするプロファイル”を保存し、Safari経由でダウンロード、インストールしてください。

管理画面の操作

2. 管理画面での操作

2.1. 管理画面にプロファイルを登録する

“上書き可能とするプロファイル”を、管理画面に登録します。

※プロファイルは、ご案内のメール、およびサポートサイトのアナウンスよりダウンロードしてください。

(1)「設定管理メニュー」>「ファイル管理」を選択

(2)ファイルを登録したいグループを選択

(3)「新規登録」を押下



(4)ファイル名は未記入で構いません。

(5)保存場所にて「システムに登録」を選択

(6)「選択」ボタンより、PCに保存されている下記ファイル名のプロファイルを選択
ファイル名：UnremovableSignedProfiles.mobileconfig

(7)備考は未記入で構いません。

(8)「登録」ボタンを押下



2.2. 上書き可能とするプロファイルを配信する

2.1.で登録した“上書き可能とするプロファイル”を配信します。

- (1)「端末制御メニュー」>「ファイル管理」を選択
- (2)ファイルを配信したい端末が登録されているグループを選択
- (3)「ファイルダウンロード要求」タブを選択
- (4)選択中のグループおよびその配下のサブグループに登録されている端末全台に配信する場合は、プルダウンより「グループ一括」を選択
- (5)配信する端末にチェックを入れる
- (6)「グループ選択」より、2.1.で登録したプロファイルを登録したグループを選択する
「システムに登録されたファイルから選択」にて登録したプロファイルを選択する
- (7)ダウンロード先パスには、「/」(半角スラッシュ)のみを入力
- (8)「サイレント方式」を選択
- (9)日時を指定して予約実行する場合は、カレンダーボタンより日時を選択
- (10)「ファイルダウンロード要求の確認」ボタンを押下

ホーム
管理メニュー
端末制御メニュー
紛失時対策
遠隔設定
端末情報取得
遠隔監視
監視通知
ファイル管理
同報通知
管理要求管理
設定管理メニュー
ワークフローメニュー
ダッシュボード
moblApps
MoChat
Device Enrollment Program

ファイル管理要求登録

yourinventit.com/sample

ファイルダウンロード要求 端末からのファイル取得要求

端末一括 (1) (2) (3) (4)

検索 全端末表示

タイクサーサーチ

表示件数 25

全選択	端末番号	端末状態	メーカー	機種	サービスプラン	所有者名
<input type="checkbox"/>	acfd0c:17:af:2b	有効	アップル	iPhone 5s GSM (hybrid)	iOS-Standard-ASsd	

ファイル選択

/yourinventit.com/Samp グループ選択 (6)

システムに登録されたファイルから選択 外部サーバーのファイルから選択

ダウンロード先パス (7)

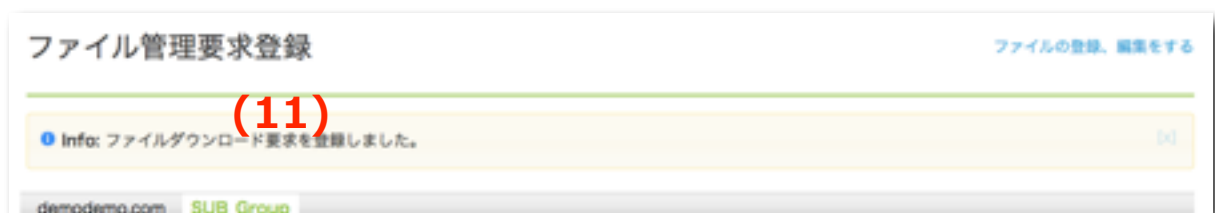
構成プロファイル配信時のインストール方式 (8)

サイレント方式

予約日時 (9)

確認 (10)

(11)ファイルダウンロード要求が登録されました

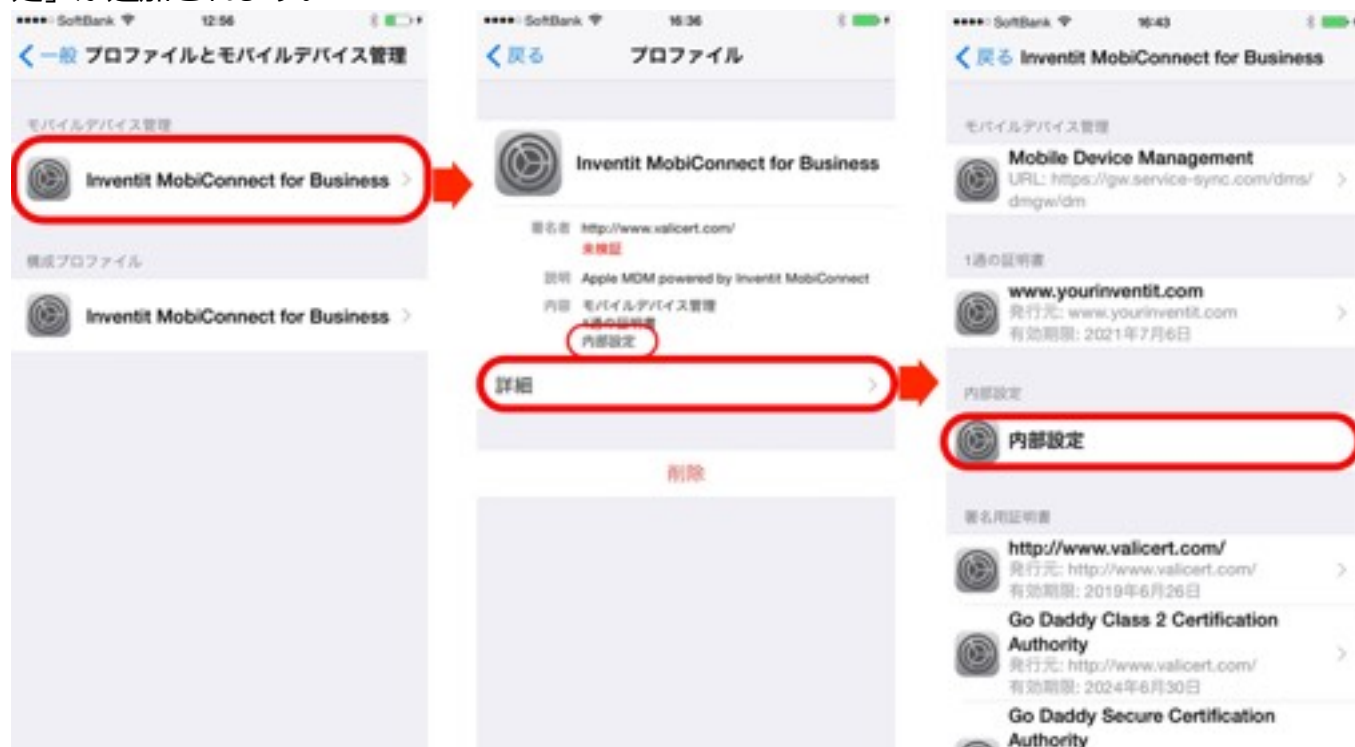


サイレント方式にて構成プロファイルを配信しているため、端末側における操作等は特に必要ありません。

管理要求管理における要求のステータスが“成功”になると、端末側でのインストールも完了しています。

また、配信したプロファイルは、下記に含まれます。

端末側「設定」>「一般」>「プロファイルとモバイルデバイス管理」内の「モバイルデバイス管理」にて、「Inventit MobiConnect for Business」のプロファイル内に、項目「内部設定」が追加されます。



2.3. 遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式で適用する

Apple社より提供された“上書き可能とするプロファイル”を配信・インストールすることで、IVI MDM方式のプロファイルを上書きすることが可能になりました。

次に、タップ方式を選択して遠隔設定フィーチャーセットを適用し、プロファイルを上書きインストールすることで、その後も引き続き上書きインストールすることを可能にします。

すでに遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式にて適用済みの場合、上書き適用されるため、必ず同じ遠隔設定フィーチャーセットを選択し、適用してください。

タップ方式にて遠隔設定フィーチャーセットを適用していない端末には、すべての項目にて“制限しない”に設定したデバイス利用制限を含む遠隔設定フィーチャーセットを作成し、適用してください。

- (1)「端末制御メニュー」>「遠隔設定」を選択
- (2)端末が登録されているグループを選択
- (3)「遠隔設定フィーチャーセット」タブを選択
- (4)検索窓には、端末番号を入力して検索することで、部分一致で検索が可能
「全端末表示」ボタンを押下すると、全てのグループに登録されている全ての端末を表示します
- (5)遠隔設定を適用する端末のチェックボックスにチェックを入れる
- (6)適用する遠隔設定フィーチャーセットの設定名を選択
- (7)タップ方式を選択
- (8)遠隔設定の適用を指定の日時に実行する場合は、実行したい日時をカレンダーボタンより選択(即時に実行する場合は、未選択のまま)
- (9)全ての入力と選択が完了したら、「遠隔設定フィーチャーセット要求確認」を押下



(10)適用する遠隔設定フィーチャーセットの内容、タップ方式になっていることを確認

(11)画面再下部の「実行」ボタンを押下

遠隔設定要求確認／遠隔設定フィーチャーセット

[戻る](#)

以下の内容で遠隔設定フィーチャーセット要求を実行します。

実行対象

No.	端末番号	メーカー	機種	所有者名	グループ
1	acfd:ec:17:af:2b	アップル	iPhone 5s GSM (Hybrid)	iPhone	demodemo.com

実行内容

設定データ名	デストフィーチャーセット
遠隔設定方式 	タップ方式 (10)
グループ	SUB_Group
端末アクティベーション時の自動適用	しない

ローカルセキュリティポリシー設定

パスワードポリシーを強制する	   強制する
フリップロック	 しない
パスコードを入力することなくデバイスのロックを解除できる最大の猶予期間	 任意に設定

デバイス利用制限設定

カメラ	   制限する
「友達を検索」	 制限しない
Configurator以外のPCとの接続	 制限しない
Game Center	 制限しない

(11)

実行

遠隔設定フィーチャーセットの要求登録が完了しました。



(12)「端末制御メニュー」>「管理要求管理」にて、要求の状況を確認可能です。



遠隔設定フィーチャーセットの適用が端末側で成功すると、管理要求管理におけるステータスも「PUSH送信中」から「成功」になります。

2.4. フィーチャーセットの上書き状況を確認する

iOS9.1へアップデート、“上書き可能とするプロファイル”をインストール後、タップ方式を選択して遠隔設定フィーチャーセットを適用し、プロファイルの上書きインストールが完了している端末、完了していない端末を、CSVファイルに出力して確認することができます。

なお、手順「[2.3. 遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式にて適用](#)」の前と後に、それぞれ**端末基本情報取得**にて情報を取得している必要があります。

- (1) 「管理メニュー」>「端末管理」を選択し、グループ別端末リストを表示
- (2) 「構成プロファイル上書き完了状況のCSV出力」ボタンを押下すると、端末リストにてチェックを入れた端末の上書き完了状況をCSV出力します
「全端末構成プロファイル上書き完了状況CSV出力」ボタンを押下すると、端末のチェック有無にかかわらず、登録されている全ての端末の上書き完了状況をCSV出力します



出力されたCSVファイルは、管理画面のホームよりダウンロードできます。
CSVファイルには、下記情報が記載されています。

1	端末番号	端末状態	グループ	機種	氏名	社員番号	備考	端末情報取得日時	OSバージョン	内部設定適用状況	構成プロファイル上書き完了
2	04f45f07a7a9	有効	yshimada	iPhone 6 (Hybrid)	iPhone			15/10/29 10:50	9.1	FALSE	TRUE
3	1caba7c8a0f8	有効	yshimada	iPad 第3世代 WiFi (Hybrid)	iPad			15/10/29 10:45	8.4.1	FALSE	FALSE
4											

- **端末情報取得日時**...端末基本情報取得が最後に実行され、情報を取得した日時です
- **OSバージョン**...インストールされているiOSのバージョンが表示されます
- **内部設定適用状況**...“上書き可能とするプロファイル”がインストールされている場合、TRUEが表示されます。
- **構成プロファイル上書き完了**...“上書き可能とするプロファイル”のインストール後、タップ方式にて遠隔設定フィーチャーセットを適用し、IVI MDMプロファイルの上書きインストールが完了している場合、TRUEが表示されます。

構成プロファイル上書き完了がTRUEになっている端末は、事象への対応が完了しています。

3. 端末側での操作

3.1. 遠隔設定の端末側でのインストール（タップ方式）

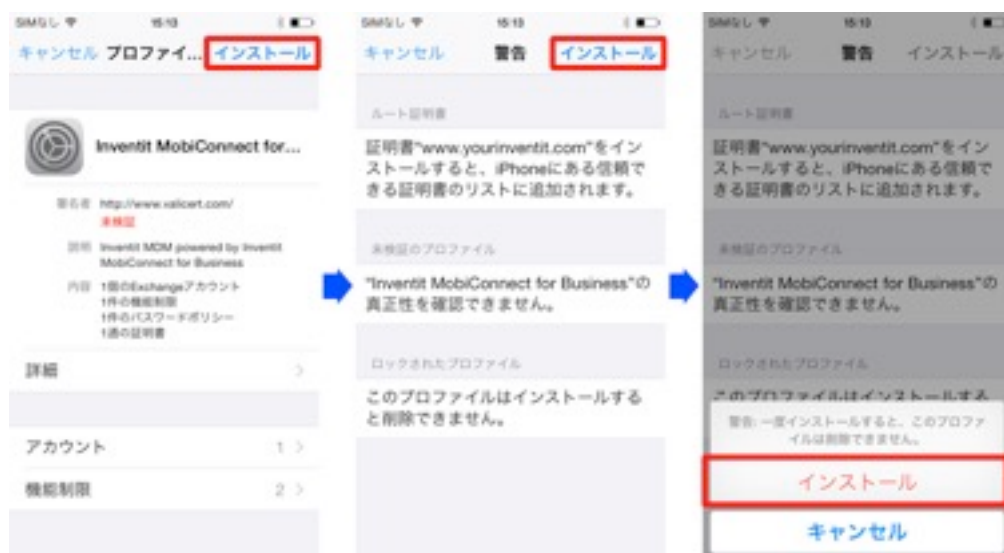
遠隔設定フィーチャーセット適用要求をタップ方式で登録すると、端末側でプロファイルのインストール操作が必要です。

- (1)遠隔設定フィーチャーセット適用要求をタップ方式で登録し、管理要求管理にてPUSH送信中になると、端末側クライアントアプリにPUSH通知が表示されます



- (2)PUSH通知をタップしてクライアントアプリを起動すると、Safariを経由してプロファイルのインストール画面へと遷移しますので、プロファイルをインストールします

※ 端末側にパスコードが設定されていると、インストール時にパスワードの入力が求められます。



(3)インストールが完了すると、Safariにて下記画面へと遷移します

以上で、タップ方式における遠隔設定フィーチャーセットの適用が完了です。



【補足事項】 管理要求管理における遠隔設定フィーチャーセット適用の成功について

管理要求管理にて遠隔設定フィーチャーセット適用要求のステータスが成功になる条件は、クライアントアプリを起動してダウンロード成功した時(自動)となります。

そのため、クライアントアプリをタップして起動後、プロファイルのインストールをキャンセルした場合でも、ステータスは成功となりますが、その後のプロファイルの上書きは可能になりません。

キャンセルされた場合は、再度遠隔設定フィーチャーセットをタップ方式を選択して適用要求を登録し、プロファイルをインストールしてください。(2.3.を参照)

4. FAQ

Q. “上書き可能とするプロファイル”はどこで入手することができますか？

A. メールアナウンスの添付ファイル、またはサポートサイトでのアナウンスに添付されております。ダウンロードしてご使用ください。

Q. “上書き可能とするプロファイル”は、配信したい端末が登録されている各グループに登録しなくてはなりませんか？

A. 全てのグループにアクセス可能な管理者(administrator)が操作される場合は、ルートグループに上書き可能なプロファイルを登録していただくことで、配下のグループに登録されている端末に配信する際に、ルートグループに登録した“上書き可能なプロファイル”を選択することが可能です。

Q. “上書き可能とするプロファイル”は、端末にインストールしてから3日間有効とのことですが、3日間を過ぎた場合はどうすればよいですか？

A. 再度“上書き可能とするプロファイル”をインストールすることで、インストールした日から3日間有効となります。

Q. “上書き可能とするプロファイル”は端末にインストールしたままで問題ないでしょうか？

A. “上書き可能とするプロファイル”はインストールから3日間経過すると自動で削除されます。

Q. “上書き可能とするプロファイル”の有効期限である2015年12月31日を過ぎた場合でも使えますか？

A. “上書き可能とするプロファイル”は、2015年12月31日を過ぎるとご使用いただくことができません。

現時点でApple社から期間延長の案内はないため、必ず2015年12月31日までに、本手順書の対応を実施してください。